

頓珍漢素人俳壇

本学園の
学生・教職員の方々から
投句いただきました。

花水木 思い伝える 大和言葉

多聞

本閉じて 窓の向こうの 春いずこ

染葉

夢いだく 白紙の如く 新社員

朱鷺楓

スケッチの 紙いちめん 舞う桜

傑作

ペン忘れ 代わりにしたき 野の土筆

駿節

春分や 別れ告げたる 卒業証

陸郎

春早し 内定届く JTB

桜船

献立に 名を連ねたる 春縮

粗品

早春の 内定取りし 友に焦り

堤伊

あしびきの つい口ずさむ 人麻呂忌

雀宙

春の雪

ここを知り置け

蛭川
しじみかわ

松瀬青々

春の名句

●俳句の説明

春という季節外れの時期に降った雪よ、ここは1909（明治42）年まで淀川の支流であった蛭川が流れていた場所だったのだ。もし積もるのであれば、そのことを知っておくといい。

春の
図書館を
詠む

この句と説明は
本学の所蔵資料
から

熊瀬川貴晶 著

『永遠の星座：文芸の哲学的基礎』

ふらんす堂 2019

請求番号：911.36|Kum

本館 第一閲覧室



暖かくなる季節ですが、体調にはくれぐれもお気をつけください（雀宙）